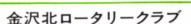


ROTARY CLUB OF

KANAZAWA-NORTH





例会日:木曜日 12:30~13:30 例会場:卯辰山·ホワイトハウス

事務局:金沢市尾山町9-13·金沢商工会議所

TEL <0762> 22-2525

会長: 土原一二 幹事: 山上啓介

情報委員長:米沢修一

1981·4月2日 第187号



"心をむすぶ和菓子"

(㈱森八 社長室長 根 尾 外喜男 氏

私達が日頃口にするものは二つに大別される。一つは命を綱ぎ養っていくもの。一つは人の喜び、楽しみを深くするものである。その喜び、楽しみを与えてくれるものに和菓子がある。

日本の和菓子がかたち作られたのは奈良から平安の頃と考えられる。珍しい食べものを神殿に供え奉る神饌は食べものを通して神と人とが一体となることを意味するがこれは菓子の原形と言ってよい。又、祭りの中の直会(なおらい)という一種の会食は食べることで結ばれる重要な神事だが、祭りや祝事の晴れの日に「品かわり」としてのこれら菓子も古くは料理の一つでもあった。

日本の風土から生まれた和菓子は生活の中で重要な働きをして来 た。すべてが移ろいやすい中で人と人との心をつなぎとめ結びつけ て来たのが和菓子である。

人の一生の中での和菓子とのかかわり、結婚、出産などその節目 節目にお菓子や赤飯をたのむ風習は日本の心として今日も欠くべか らざるものとして至っている。

和菓子は五感の芸術と言われる。目に見た美しさ、食べた時の歯 ざわり、舌ざわり、そしてさわやかな味と香りも大切である。四季 それぞれの季節感の表現、琳派の絵画を思わせる多彩多型、さらに 万葉集、物語、草紙などから因んだ和菓子の銘に至っては聴覚に対 する日本人ならではの感がする。

生活の中から生れた和菓子は他人に対する感謝や喜びの表現であると同時に口では言えない心づかいでもある。

-映画「和」心を結ぶ和菓子(とらや製作)より-(文責 米沢修一)

私の名刺

田中靖康



此の度、浅田豊久様と舘山松雄様よりの御推薦によりこの1月名 誉ある金沢北ロータリークラブに入会を許されましたこと、心より 感謝致して居ります。当クラブにあって、今後少しでも多くその精神に触れる様、努力・勉強致す所存です。どうぞ宣敷く御指導頂き ます様お願い申し上げます。

私は、昭和8年2月に大阪に生を受け、小学生時代は、戦中で、 空襲・学童疎開、そして終戦と類に漏れず悲惨でした。その上父の 戦死といろいろな中で旧中学に2年半過しましたが、家計が苦しく なり、就学を断念せざるを得なくなりました。そうする中、私は、

昭和23年に寿屋 (現サントリー(株) に丁稚として入りました。(丁稚とは、云わば、見習社員のことで、夜学に通い、洋服・靴・学用品・自転車・懐中電灯さらには、学費まで出して貰いました。)

昭和28年学校卒業後、正社員として配属され、本社・経理・販売・宣伝と経過し、

昭和43年、静岡営業所長。47年、関東支店次長。そして53年、金沢支店長として、金沢へ参りました。以上の様に、私の歩みは、即会社の歩みであった由です。それも決して順風満帆な、また平担な道のりではありませんでした。詳すれば、赤玉ポートワインの製造・販売・破天荒で大担不敵とまでいわれたウイスキー事業への着手、さらに、その後の洋酒ブームがもたらした安穏で恵まれた時代に自ら縁を絶って進出したビール事業への挑戦など、砂漠に種を蒔き、水を灌ぎ、不毛の地を沃野に化する苦闘の連続でした。自らに課した試練とはいえ、急峻を登りつめてこられたのは、多くの幸運と、社内にみなぎる創業以来の"やってみなはれ"精神のたまもの以外の何ものでもありません。

さて厳しい80年代をむかえ、ロータリアンとして、その精神をインカネーション (肉化) し、自らのスコープ拡大のためにも、最大限努力してまいるつもりでございます。どうぞ、先輩の皆々様方には、宜敷くご指導賜わります様、重ね重ね伏してお願い申し上げます。

歴代、国際ロータリー会長の指針

1968~69年度 東ヶ崎 潔(日本)

参加し敢行しよう!

- 1. 貴クラブにおいて。
- 2. 職業を通じて。
- 3. 地域社会づくりに。
- 4. 国際的接触を通じて。

修練委員会 -

ロータリー随想

文 化 思 考

米 沢 修 一

―二つの文化概念―

「地域と文化」が問われている。文化の時代といわれたり、行政も文化行政などといっている。ここでいう文化とはいったい何か、少し考えてみよう。

私達日常の言葉の中で文化という語を気軽に使用している。その範囲は人間が生み出した最高の価値、たとえば芸術や科学から日常生活のごく一般的な品物までに使用されているごとくその意味は決して一様ではない。

しかし、大きく分けて見ると、ドイツ語でいう文化〈クルトウール〉と英語の〈カルチャー〉の二つに大別できよう。

前者は理想的、あるいは精神的な価値を対象として社会や地域との影響は受けはするが一応区別されたもの、具体的には宗教や芸術、さらに科学といった一つの独立した世界を指しているし、後者は人々の暮し方や生き方をとらえる、言いかえれば生活文化としての考え方で充実した暮しをするにはどうしたらよいかということである。その意味から今日私達が言う文化とは生活を全体として捉え、また見直すということであり、又それが今日的課題ではなかろうか。

―地方の文化―

ところで我が国で文化ブームの契機となったのは4年前の文化産業論からである。それが引き金となり日本各地で華々しく「文化」について論議されるようになった。このように文化を一つの問題意識として出て来たその根底には我が国の工業化の進歩、近代化への急速な発展と大きく関わりをもっていると言われている。

工業化に伴う画一化の進行、統一を欠いた多様性の支配の中で人間としての潤いや、生きがいが 失われていくのではないか、つまり人間性回復の問題が大きくクローズアップして来たということ 言いかえればそれは生活の質の問題であり、快適で安定した生活、豊かな社会、ゆとりを追求する ことでないかと思う。

その意味において地方の時代、地方の文化は今までの地域とか文化の問いかけと、生活をトータル的に捉え直すということであろう。

文化は人々が生活の中でかたち創っていくとすれば、地域としての可能性を見い出し確認していくことの積重ねがその地域の文化を創造していく源動力になると確信する。

―未来ある街づくり―

この様にして地方の文化的多様性が求められる中で、街づくりも「文化」を十分に考慮したものにしなければならない。街づくりにおける諸問題は、産業・交通・景観・市民生活等々多岐多様にわたっている。しかし開発と地域文化の接点を見い出し、地域の歴史、風土を踏まえたうえでの調和を計るべきである。

「住んでよい街」「住みたい街」づくりは地域の中でのいろいろな条件に立脚する街づくりの論理でなかろうか。

―そして金沢は―

住んでよい街と同時に「訪れてみたい」街がいくつかある。ある調査でも京都と共に必ず金沢の名が出て来る。山紫水明、恵まれた環境下のわが街金沢は、四季折々の自然と調和の中で他の都市にない魅力、個性があるからだろう。又その魅力の内側には 400年間の蓄積した伝統文化がある。それらが市民の美意識とか価値判断が生活の中で息づいているといえる。

近代化には伝統を断ち切った近代化と伝統を土台としての近代化があるとすれば、間違いなく金 沢は後者でなくてはならない。

何を切り捨て何を創るのではなく、何をどの様に融和し、そこから何を見い出すことが出来るかである。それを市民意識として夫々の立場において議論されることを願うものである。

第373回例会

◆ 3月19日休はれ 12:30~13:30 ホワイトハウス



- 1.講話 (検森八 社長室長 根尾外喜男氏 映画 "「和」心をむすぶ和菓子"
- 2. 出欠 出席45名、欠席10名 出席率77.78% ビジター25名
- 来訪者(敬称略)
 ラミナダRC(U.S.A)

コーネリアス・バンダム(牛乳販売) 金沢RC 中島秀夫、真柄要助 織田義夫、吉田国男、市川弘善

織田義夫、吉田国男、市川弘善 分校太平

金沢東RC 紙谷栄次郎、正田文男 平野知康、不破幸夫、堀政尋 紙谷穣、辻国臣

金沢西RC 新村利夫、瀬戸称一 永井正一郎、渡辺浩作、綾塚修司 金沢南RC 新家常男、横川松次郎 村井利男、辻弘、山本茂、柿木英夫

4 . = = = = BOX

- ○去る3月15日の長唄会に賛助出演し、 その出演謝礼に過分のものを頂きました。喜びと嬉しさをこめて出演料の源 泉所得税のつもりで 釣見栄一
- ○始めての卒業生を世に送ることが出来 て 鈴木透
- ○親睦ゴルフに参加出来なくなって 山岸与作
- ○今日の講師に根尾氏をお迎えすること が出来て 俵外代吉
- ○此の度、不覚にも事故に相成り入会早々にも入院を致しまして。先般当クラブよりお見舞を頂き 池島乙市合計14,000円 (累計 1,088,000円)
- 5. 今週のニュース 行革で2兆円確保。

首相が57年度子算で増税なしの財政再建を達成する決意を表明したのを受けて中曾根行管庁長官は行革による同年の財源確保の目標を2兆円としこの実現のため補助金の削減だけでなく国家公務員の新規採用中止、新規事業の見送りなど非常手段を講ずるとの方針を打ち出した。

第374回例会

◆ 3月26日休雨のち曇 12:30~13:30 ホワイトハウス



- 講話 「雑誌創刊号の話」 北陸電力㈱石川支店 地域社会担当課長 醒井秀彰氏
- 2. 出欠 出席36名、欠席19名 出席率66.07% ビジター23名
- 3. 来訪者(敬称略) 金沢RC 鳥畠良一

田辺良寛、松本修成、真柄要助 竹内外茂、三ツ野真三郎、正村章 中村外志郎、中田雄次郎、北公夫

金沢東RC 原喜啓、福光博

竹松俊孝、山田勝二、岡田義明 水上外茂夫、浅田裕久

金沢西RC 新村利夫、前田典千代 金沢南RC 中山博、大島宗古 新家常男、柿木英夫



5. = = = = BOX

- ○浜松ゴルフコンペ優勝しました 山上啓介
- ○本年度新入社員入社式を今ほどすませました。浅野弘明
- ○本日無事退院出来ました 池島乙市 合計 7,000円 (累計 1,095,000円)
- 6. 今週のニュース 当用漢字表廃止に

当用漢字表に代わる新しい漢字表作りを進めていた第14期国語審議会は「常用漢字表」をまとめ文相に答申した。常用漢字表は当用漢字(1850字)に95字を追加したうえ、一般社会生活での漢字使用の目安と定義付けて、字種、字体、音訓、語例を網らした総合漢字表となっている。なおこの答申は10月にも内閣告示される運び。

3月クラブ日誌

3月1日 次期会長・副会長・幹事研修会 小矢部にて

3月12日 3月定例理事会 写真部会

3月14日 交換学生オリエンテーション 金沢シティホテルにて

3月19日~20日 ゴルフ旅行

浜名湖カントリークラブ 参加者7名

3月26日 親睦・友好・例会委員会

浜松遠征ゴルフコンペ

3月20日 浜名湖カントリークラブ

1.5ラウンド 参加者7名

				G	Н	N
優勝	Ш	上	啓 介	136	18	118
2位	木	下	和吉	166	45	121
3 位	塩	村	喜代治	153	30	123
BB	舍官	ılı	松雄	158	28.5	129.5